リーディングスキルテスト（RST）のご案内

ビジネスの必須スキル「読解力」を診断、高めるツール



RST
READING SKILL TEST

一般社団法人 教育のための科学研究所

リーディングスキルテストが必要とされる理由

AI時代になぜ読解力が必要なのか。

「汎用的読解力」とは、分野を問わず、図表も含めたあらゆる言語化された情報を正確に読み解く力のことです。特にビジネスパーソンに求められるのは、ファクトについて書かれた文書を読み解く力です。そこには、契約書、約款、マニュアル、仕様書、メールでの指示などが含まれます。

AI（人工知能）は、論理的に書かれた文書は読解できる、と思われがちですが、そんなことはありません。現在のAIは、過去のデータから統計と確率を用いて、それらしい解を選んでいるに過ぎず、文章を読み解くことはできないのです。

汎用的読解力は本来、意味を理解する人間がAIに対して優位に立てるはずの領域です。しかし、社会人であっても意外なほどに読めていません。そこで汎用的読解力を診断するために開発されたのがリーディングスキルテスト（RST）なのです。

リーディングスキルテストとは読解力を可視化するツール。

RSTは、国立情報学研究所を中心とした研究チームが開発した、汎用的読解力を測定・診断するテストです。ファクトについて書かれた200字程度の多様な種類の文（教科書、新聞、法律、辞書、行政文書等）を提示し、6つの分野で受検者が正しく読解できるかを測定・診断します。

「自分はよく本を読むほうだから読解力には自信がある」と思っていても、「イメージ同定」や「具体例同定（理数）」などで、本人が思っている以上に読めていないことが判明することは少なくありません。これまで受検を終えた東証一部上場企業では、ほぼ例外なく、上位1%以内の高い汎用的読解力を有する受検者がいる一方で、中学生の平均を下回る受検者もいます。それくらい組織内の読む能力のばらつきが大きいのです。RSTは受検者だけでなく、組織そのものの「文章で正確にコミュニケーションする力」を可視化します。そのばらつきを小さくすることは、組織の生産力向上に直結するはずです。

読解力が向上すると	● 仕事上の誤解や勘違いが少なくなり、仕事の効率が向上する。 ● 社外の人とのコミュニケーションの質が上がり、仕事の質が向上する。

リーディングスキルテスト 3つの特徴

1 受検者の読解力を、6つの分野から測定します。

RSTは6つの分野から構成されます。6つの分野とは、「係り受け解析」、「照応解決」、「同義文判定」、「推論」、「イメージ同定」、「具体例同定（辞書・理数）」です。少ない問題で、各分野の能力値を精度良く測定するために、受検者の能力に応じた問題を出題します。これにより、受検者に期待される汎用的読解力のうち、何が得意で、何が苦手なのか、さらには、どんな仕事上のミスが起こりやすいかを診断できるのです。

問題分野	測定する内容
係り受け解析	文の基本構造を把握する力
照応解決	代名詞などが指す内容を認識する力
同義文判定	2つの文の意味が同一かどうかを判定する力
推　論	論理的に推論する力
イメージ同定	文と非言語情報（図表など）を正しく対応させる力
具体例同定	定義を読んで、言葉を正しく使いこなせる力

2 パソコンやタブレット端末を用いて容易に実施できます。

RSTはインターネットに接続されたパソコンやタブレット端末を使って、CBT（Computer Based Testing）として実施します。自社の会議室やコンピュータ室などを使って受検してください。1回の受検時間はテストの説明や休憩時間を入れて、約50分です。受検後にはテストを受けたパソコンやタブレット端末で、すぐに受検結果を確認できます。また、団体の担当者は受検開始の翌日から一定期間、CSV形式の受検者全員の成績（能力値等）をWebサイトから取得できます。

結果表示画面は5ページ参照

3 個人の読解力が早く、正確に診断できます。

RSTでは正答率ではなく、能力値によって受検者の汎用的読解力を測定・診断します。RSTには、数千を超える「十分な統計データによって難易度がわかっている問題群」が格納されています。いくつかの問題を受検者が解くと、その正誤によって、受検者のおおよその能力値を推定します。それに基づいて、問題群の中からその受検者の能力に合った問題を自動的に選択して出題します。このような出題を繰り返すことによって、すべての受検者が同じ問題を解く通常のテストに比べて、圧倒的に少ない問題かつ高い精度で能力値を測定できるのです。

企業にとってのRST導入のメリット

こんなことがありませんか

- 社内の安全マニュアルの内容を理解できていない社員が誤った作業をしてしまった。
- 仕様書の誤読によって損害が生じた。
- アウトソーシング先にマニュアルを正確に読み取ってもらえず、質の低い仕上がりになった。

RSTを取り入れることで

- 社員が資料の作成やメールを介したコミュニケーションに必要な読解力を持ち合わせているかを見極めることができる。
- 読解力を基準に業務委託先を選別できるので、マニュアルを理解したうえで、完成度の高いものをつくりだしてくれる相手を見つけられる。

リーディングスキルテストの流れと結果

リーディングスキルテスト（RST）はコンピュータ上で実施するテストです。
受検者の読解力に応じて難易度の異なる問題が出題されますので、紙の試験のように全員が同じ問題を解くものではありません。
どのように行うのか、提供する結果とともにご紹介いたします。

Sコース　団体受検（企業・自治体・学校）の概要

申込人数	20名以上	受検者に提供する結果	受検後の画面上に、問題分野ごとの能力値（偏差値）及び能力値に応じたアドバイスを表示 画面上に表示された結果を印刷することは可能です（印刷は受検場所の環境に依存するため、必ず印刷できることを保証するものではありません。）
料金（1名当たり）	1,650円（税抜）、1,815円（税込） （1,500円＋事務管理手数料（10%））＋消費税		
受検会場	受検団体側で準備（社内、校内等）	受検団体に提供する結果	Webサイトからのダウンロードによって提供 ① 受検団体全体の成績概要（PDF形式） ② 受検者全員の詳細な成績（CSV形式） ③ 成績の見方（PDF形式）
受検時間	約50分		
受検時期	随時（1カ月前までに申し込み）	申込先	Webサイト（https://www.s4e.jp/）の「受検のお申し込み」から

受検の流れ

1. 受検者はパソコンやタブレット端末のブラウザを立ち上げ、指定されたURLにアクセスし、ログイン情報（ID、コード番号等）を入力してログインします。
2. ログイン後、受検する上での注意事項等はすべて画面上に表示されます。その指示に従って進んでください。
3. RSTの6分野のテストが始まります。各分野は注意事項・例題・本番で構成されています。例題を解き終え、準備ができたら、受検者がテストを開始します。ひとつの分野を解き終わると、次の分野が始まります。
4. 分野ごとに制限時間が設定されていますので、その中で、できるだけ正確に、なるべく多くの問題を解きます。
5. 3分野の終了後に休憩時間が設定されています。リフレッシュしてから残りの3分野に取り組んでください。
6. 6分野が終了すると、受検結果が表示され、テストは終了です。ログインから終了までの所要時間は約50分です。

RSTの実際の画面の流れ

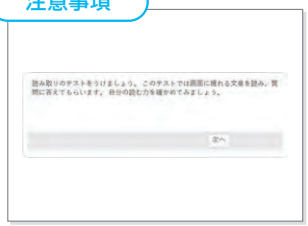
最初の画面



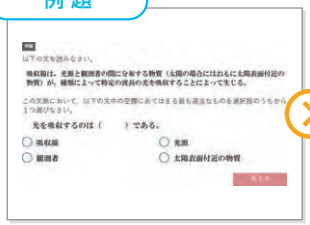
ログイン画面



注意事項



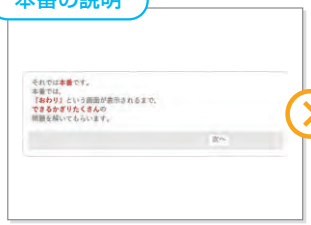
例 題



例題回答



本番の説明

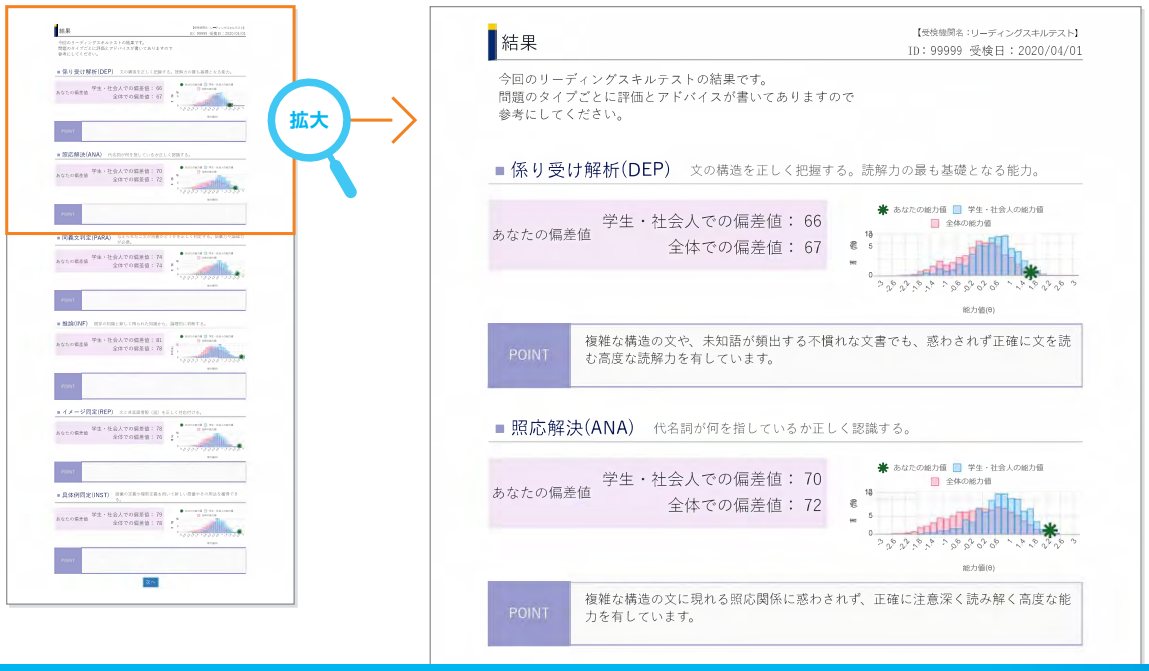


本 番

本番用の問題が始まります。
例題のような回答の
正解／不正解は
本番では出ません。

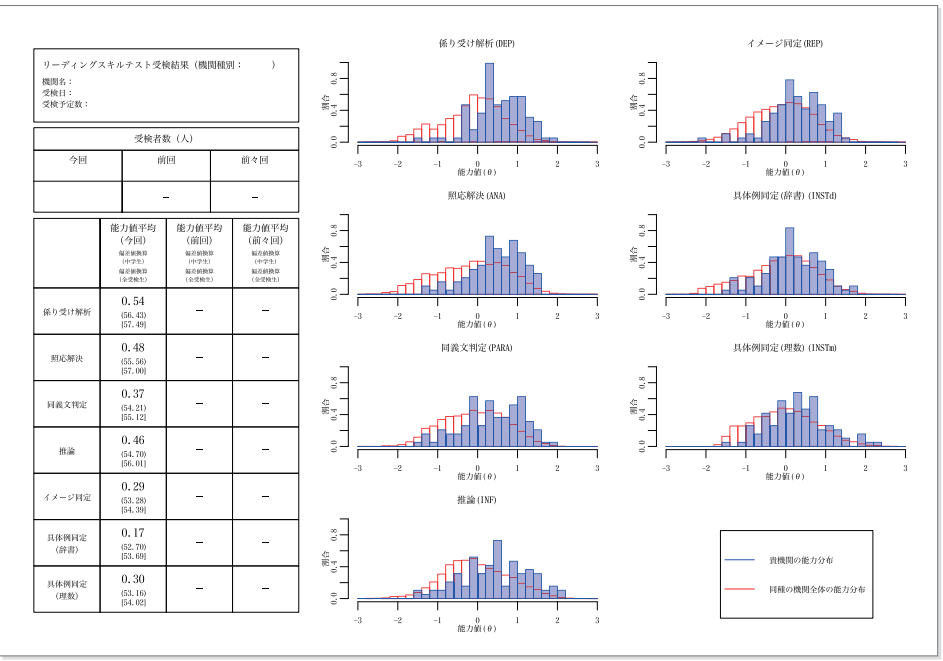
受検者に提供する結果

テストが終わると6つの問題分野ごとの能力値と能力値に応じたアドバイスが画面上に表示されます。



受検団体に提供する結果

①受検団体全体の成績概要（下図PDF形式）、②受検者全員の詳細な成績（CSV形式）、③成績の見方（PDF形式）をフィードバックします。
能力値0は、「中学生の能力値の平均」を表します。また「学生・社会人」、「同種の機関全体」には、多様な職種の社会人の結果が含まれます。



リーディングスキルテスト受検結果（機関種別： ）

機関名：
受検日：
受検予定数：

受検者数（人）		
今回	前回	前々回
	－	－

	能力値平均（今回）	能力値平均（前回）	能力値平均（前々回）
係り受け解析	0.54 [56.43] [57.49]	－	－
照応解決	0.48 [55.56] [57.00]	－	－
同義文判定	0.37 [54.21] [55.12]	－	－
推論	0.46 [54.70] [56.01]	－	－
イメージ同定	0.29 [53.28] [54.39]	－	－
具体例同定（辞書）	0.17 [52.70] [53.69]	－	－
具体例同定（理数）	0.30 [53.16] [54.02]	－	－

①「受検団体全体の成績概要」では、受検団体の分野ごとの能力値平均と能力分布が記載されています。各分野の能力値平均が高いこと（例：ホワイトカラーの場合は能力値1以上）、能力分布のばらつきが大きくないかをご確認ください。加えて、6分野の能力値平均に偏りがないかチェックするとよいでしょう。
②「受検者全員の詳細な成績」では受検者の受検結果がCSV形式の一覧になっています。部署・年代・職種に分けて能力値を比較することにより、部署内や部署間のコミュニケーションの問題などを可視化・検出できます。また、RST以外のテストの結果など他の指標と相関を取ることで、社内で必要とされる汎用的読解力の分野を特定できます。複数の分野を苦手としている社員に対する適切な再教育により、社内のコミュニケーションや生産性の向上が期待できるでしょう。経年調査を行い、PDCAを回すと更に効果的です。
③「成績の見方」では各分野の問題例とその設計の意味に加え、基本的かつ一般的な指導方法が記載されています。

実施にあたってのミニFAQ

受検者から

Q キーボードは使用しますか。
A ログイン時の入力以外では使用しません。

Q 問題に答えようとしたら画面が変わってしまったのですが…。
A 問題分野の制限時間になると、回答中でも次の問題分野に移ります。回答できなかった問題は結果に反映されません。

受検団体から

Q IDは誰が決めるのですか。
A 重複しないよう受検団体側で決めてください。

Q 4桁のコード番号は誰が決めるのですか。
A 受検者が各自で忘れない4桁を決めることを推奨していますが、受検団体側が指示することも可能です。

FAQ よくあるご質問

受検について

Q リーディングスキルテストはどのように受検するのでしょうか。紙での受検はできますか。

A 紙面では正確な分析ができないため、すべてコンピュータ上での受検（CBT）となっています。

Q 一斉に受検をしなければいけないのでしょうか。

A 実施期間内であれば随時受検できます。ただし、自宅での受検、私用のパソコンやタブレット端末での受検は固くお断りしています。

Q 受検のために、パソコンやタブレット端末にアプリケーションなどをインストールする必要はありますか？

A インターネットに接続できる環境があり、インターネットブラウザがインストールされていれば追加のアプリケーションは必要ありません。最新バージョンのインターネットブラウザで受検をお願いしています。

Q SコースとPコースの違いは何ですか？

A Sコースは団体受検、Pコースは個人受検（14ページ参照）です。SコースとPコースの受検内容は変わりません。

Q 受検者の個人情報の取り扱いはどのようになっていますか。

A 受検団体が設定した受検者IDで結果をお知らせしますので、当研究所が個人情報を受け取ることはありません。

支払いについて

Q 受検にかかる費用は前払い・後払いのどちらでしょうか。

A 後払いです。受検後の受検者数（ログイン数）によるご請求とさせていただいております。

Q 見積書がほしいのですが。

A 見積書は、受検の申し込みを進めていただく途中で発行できます。

Q 請求書を紙でほしいのですが。

A 請求書は電子化されていますので郵送は致しかねます。



リーディングスキルテスト お申し込み～お支払いの流れ

お申し込みフォームからの申し込み
（受検の1カ月前まで）

プレテストによる動作確認と環境確認
（受検5日前まで）

受検・結果表示

受検結果のダウンロード
（受検開始日翌日から受検期間終了後
1週間以内）

お支払い

アンケート回答
（ご協力）

リーディングスキルテストの沿革と実績

RSTの沿革

2016年	4月	リーディングスキルテストの研究・開発を開始 （国立情報学研究所）
	7月	産学連携の「教育のための科学研究所」準備協議会を設置 （26日）
2017年	7月	準備協議会の活動を継承した「一般社団法人 教育のための科学研究所」を設立 （3日）
2018年	8月	リーディングスキルテストを有償にて提供開始
2019年	4月	自動申し込みシステム稼働
	8月	Pコース（個人受検）提供開始 （代々木ゼミナールと連携）
2020年	4月	企業・大学等向けソリューションメニュー提供開始 （代々木ゼミナールと連携）

企業の受検実績

リーディングスキルテスト（RST）は2016年4月のテスト開始以来、4年間で延べ約20万人が受検しています。
最近では企業による受検が増えており2018年から2019年にかけて受検企業数は2倍、1万名を超える方々が受検されています。
業種では、建設、金融、商社、製造、情報サービス、小売、不動産等、多岐にわたっています。

企業のRST導入理由

- 新規・中途採用時の判断の一つとして
- 管理職の昇格基準の一つとして
- 各種資格試験対策として
- 社員研修の一環として

リーディングスキルテストの問題例

RSTは「さまざまな分野の、事実について書かれている短い文章を正確に読めるかどうか」の能力を、6つの分野で測定します。
問題の一部をご紹介します。各分野の問題例は2問目のほうが難易度を高くしてあります。

係り受け解析　文の基本構造を把握する力

Q.1　以下の文を読みなさい。

真核細胞の呼吸の材料となる有機物は主にグルコースで、細胞に取り込まれると、ミトコンドリアの酵素などによって分解反応が進み、無機物に分解される。

この文脈において、以下の文中の空欄に当てはまる最も適当なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

（　　）は細胞内で分解される。

①ミトコンドリア　②グルコース　③真核細胞　④無機物

Q.2　以下の文を読みなさい。

適応免疫細胞には、B細胞が抗体と呼ばれるタンパク質をつくって、細胞外の病原体を除去する体液性免疫と、キラーT細胞が直接感染細胞を見つけて殺し、細胞内の病原体を除去する細胞性免疫がある。

この文脈において、以下の文中の空欄に当てはまる最も適当なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

細胞内で病原体を除去するのは（　　）である。

①体液性免疫　②キラーT細胞　③B細胞　④抗体

照応解決　代名詞などが指す内容を認識する力

Q.3　以下の文を読みなさい。

アッシリア人は、紀元前19世紀には領土を広げたが、ミタンニや「海の民」などの脅威にさらされ、盛衰を繰り返した。しかし、オリエントの諸民族が混迷を深める中で、紀元前9世紀ごろから、鉄製の武器と戦車を装備し、新たに騎馬隊も組織して勢力を伸ばした。

この文脈において、以下の文中の空欄に当てはまる最も適当なものを1つ選びなさい。

紀元前9世紀ごろから勢力を伸ばしたのは（　　）である。

①アッシリア人　②ミタンニ　③海の民　④オリエントの諸民族

Q.4　以下の文を読みなさい。

紀元前3世紀ごろ、ギリシャ人のユークリッドは、それまで知られていた図形の性質を『原論』という本に整理してまとめた。そこでは、少数のごく単純な性質から出発し、順を追って、数多くのより複雑な性質を導いていくという方法がとられた。

この文脈において、「そこ」は何を指すか。最も適当なものを1つ選びなさい。

①ギリシャ　②ユークリッド　③図形の性質　④原論

解答は11ページ参照

同義文判定　2つの文の意味が同一かどうかを判定する力

Q.5 以下の文を読みなさい。

> 仮言命法とは「もしXを得たならばYせよ」というように条件付きの命令であり、
> Xという条件がなくなれば、その命令は意味を失う。

上記の文が表す内容と以下の文が表す内容は同じか。「同じである」「異なる」のうちから答えなさい。

仮言命法とは「もしXを得たならばYせよ」というように条件付きの命令であり、
その命令が意味を持つのは、Xという条件があるときだけである。

①同じである　②異なる

Q.6 以下の文を読みなさい。

> 水中で生活するセキツイ動物は泳ぐのに適した体形と体表の形態をしている。

上記の文が表す内容と以下の文が表す内容は同じか。「同じである」「異なる」のうちから答えなさい。

泳ぐのに適した体形と体表の形態をしたセキツイ動物はすべて水中で生活する。

①同じである　②異なる

推　論　論理的に推論する力

Q.7 以下の文を読みなさい。

> 農業の機械化が進むと村に人手が余るようになり、働く場を求めて多くの若者が農村から都市に出ていった。

上記の文に書かれたことが正しいとき、以下の文に書かれたことは正しいか。
「正しい」「間違っている」、これだけからは「判断できない」のうちから答えなさい。

機械化によって比較的人手をかけずに農業ができるようになった。

①正しい　②間違っている　③判断できない

Q.8 以下の文を読みなさい。

> アミラーゼという酵素はグルコースがつながってできたデンプンを分解するが、同じグルコースからできていても、
> 形が違うセルロースは分解できない。

上記の文に書かれたことが正しいとき、以下の文に書かれたことは正しいか。
「正しい」「間違っている」、これだけからは「判断できない」のうちから答えなさい。

酵素によって分解できるかどうかは、物質が何からできているかによって決まる。

①正しい　②間違っている　③判断できない

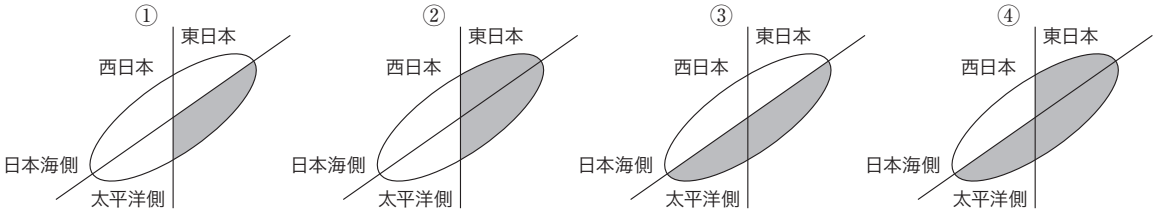
解答は11ページ参照

イメージ同定　文と非言語情報（図表など）を正しく対応させる力

Q.9

以下の文を読み、比較的雪の量が少ない地域のうち、角餅を食べている地域だけ塗り潰して示した図として適当なものをすべて選びなさい。

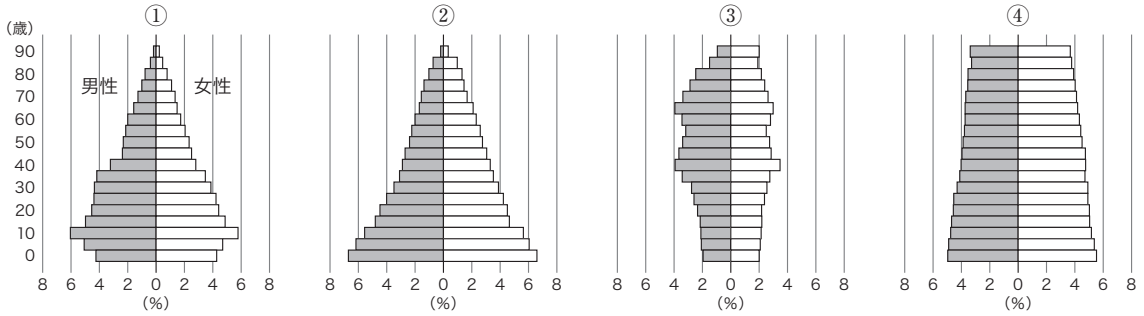
冬に降る雪の量は、太平洋側より日本海側のほうが多くなる。電気の周波数は、東日本は50ヘルツで、西日本は60ヘルツである。また、正月の雑煮に使われる餅の形は、東日本では「角餅」、西日本では「丸餅」が多く見られる。



Q.10

以下の文を読み、1960年代の日本の人口ピラミッドの概形を表す図として適当なものをすべて選びなさい。

日本の人口ピラミッドは、1930年代には年齢の低い子どもほど数が多い「富士山型」の特徴を示してきたが、
1960年代になると子どもの数とお年寄りの数の差が「富士山型」よりも小さい「釣り鐘型」となり、
2010年ごろになると、子どもの数が少なくなり、お年寄りの数が多い「つぼ型」へと変わっていく。



具体例同定　定義を読んで、言葉を正しく使いこなせる力

Q.11

以下の文を読みなさい。

動物の音声や物体の音響を言語音によって表した語を擬音語、事物の状態や身ぶりなどの感じを
いかにもそれらしく音声に例えて表した語を擬態語という。
擬音語には「ワンワン」「ガサゴソ」などがあり、擬態語には「わくわく」「ポカン」などがある。

「擬態語」が用いられている例を選択肢の中からすべて選びなさい。

① 彼女はいつもテキパキと仕事をこなす。
② 母親が亡くなった後、彼はしばらくぼんやりと時を過ごした。
③ 熊よけの鈴がコロコロ鳴った。
④ 彼がやってきたのは、じとじとした梅雨の夕方のことだった。

Q.12

以下の文を読みなさい。

赤玉3個、青玉2個、黄玉1個が入っている袋から玉を取り出し、色を確かめてから袋に戻す。
このような試行を最大3回まで繰り返す。ただし、赤玉を取り出したときは以後の試行を行わない。

玉の取り出し方の組み合わせとしてありうるものを、以下の選択肢の中からすべて選びなさい。

① （黄玉、黄玉、赤玉）の順番で玉を取り出した。
② （黄玉、赤玉、青玉）の順番で玉を取り出した。
③ （青玉、赤玉）の順番で玉を取り出した。
④ （青玉、黄玉、青玉、赤玉）の順番で玉を取り出した。

解答は11ページ参照

解答と解説

係り受け解析

Q.1＝②

「真核細胞の呼吸の材料はグルコースである」「グルコースが細胞に取り込まれると、酵素によって無機物に分解される」という２つのことが書かれている。何が細胞内で分解されるのかが問われているので、正答は「グルコース」。

Q.2＝②

適応免疫には、B細胞が関わる体液性免疫と、キラーT細胞が関わる細胞性免疫があることが書かれている。細胞性免疫ではキラーT細胞が細胞内の病原体を除去するとあるので、正答は「キラーT細胞」。

照応解決

Q.3＝①

「しかし～」の文は主語が省略されていて、この問題では主語が何かが問われている。意味を確認しながら読むと、「アッシリア人」がミタンニや海の民の脅威にさらされつつも、オリエントの諸民族が混迷を深める中で勢力を伸ばしたことがわかる。

Q.4＝④

「そこ」では、ごく単純な性質から出発し、複雑な性質を導いていく方法がとられたとあるが、「そこ」が何を指しているのかを問う問題。前の文を読むと、ギリシャ人のユークリッドが図形の性質を『原論』という本にまとめたとある。

同義文判定

Q.5＝①

対偶を理解できているかが問われている。対偶とは「AならばBである」と「Bでなければ Aでない」の関係のことで、この2文は同義である。それを踏まえて確認すると、「xという条件がなくなると、命令は意味を失う」と「命令が意味を失わないときは、xという条件がある（＝xがなくなることはない）」は同義である。

Q.6＝②

「水中で生活するセキツイ動物」は「泳ぐのに適した体形と体表の形態をしている」と「泳ぐのに適した体形と体表のセキツイ動物」は「すべて水中で生活をする」は意味が異なる。泳ぐのに適した体形と体表のセキツイ動物の中には、水中で生活しないものもいる。

推　論

Q.7＝①

機械化が進んだことで、人手をかけずに農業を行えるようになったため、村に人手が余るようになった。

Q.8＝②

デンプンもセルロースもどちらもグルコースがつながってできている。にもかかわらず、アミラーゼという酵素はデンプンを分解できるが、セルロースを分解できない。つまり、酵素が分解できるかどうかは、その物質が何からできているかによって決まらない。

イメージ同定

Q.9＝①

図は日本列島を東と西、日本海と太平洋に４分割している。雪が少ないのは太平洋側、角餅を食べるのは東日本なので、太平洋側かつ東日本側が塗り潰されている①が正答。

Q.10＝①

60年代には子どもとお年寄りの数の差が「富士山型」より小さい「釣り鐘型」になったと書かれている。これに該当するのは①。②は「富士山型」、③は子どもの数よりお年寄りの数が多い「つぼ型」、④は「釣り鐘型」になっていない。

具体例同定

Q.11＝①②④

③の「コロコロ」は、鈴の音を言語音で表した擬音語である。それ以外の、①の「テキパキ」、②の「ぼんやり」、④の「じとじと」は、状態を表している擬態語である。

Q.12＝①③

ポイントは、「取り出した玉の色を確かめてから袋に戻す」「最大３回繰り返す」「途中で赤玉が出たら試行をやめる」の3条件。①は条件に合致。②は赤玉が出た後も試行を続けているので合致しない。③は2回目に赤玉が出たので試行をやめた、よって合致。④は試行を４回繰り返しているので合致しない。

リーディングスキルテスト導入事例

インタビュー●RSTの導入と活用法を聞く

個人を活かせる 新しい働き方の実現へ。 その基本は読解力



TOYOTA SYSTEMS

株式会社トヨタシステムズ　代表取締役社長　**北沢 宏明 氏**

リーディングスキルテスト（RST）を全社員が受検している株式会社トヨタシステムズ。北沢社長にRSTの導入経緯から社員教育・人材育成への活用の仕方などをお聞きしました。

IT企業が求める人材育成と アクティブラーニングの導入

――北沢社長、本日はよろしくお願いいたします。まずはトヨタシステムズのご紹介をお願いいたします。

北沢　2019年の１月にトヨタ系の情報システム３社とトヨタ自動車の情報システム領域の一部を統合し、新会社としてトヨタシステムズを設立いたしました。従来もトヨタのクルマづくり全般をＩＴで支えていましたが、統合によりさらなる競争力の強化を目指します。

――会社の特色をお聞かせください。

北沢　まずは若い会社であること。またＩＴ会社ではありますが、製造系の仕事を主にしていることで、開発・生産・販売・金融まで幅広い仕事をサポートしていますし、グローバルな展開もしています。最後にトヨタの一員であること。トヨタ生産方式をはじめとする、トヨタの考え方・仕事の進め方を継承しています。

――次に当研究所の新井所長がトヨタシステムズの技術アドバイザーに就任していますが、新井と出会われたきっかけやアドバイザーとしてご依頼された内容についてお話しいただけますか。

北沢　お客様向けのイベントで新井先生に講師をお願いしたのがきっかけです。AIにもお詳しいので、新技術の紹介や活用について、先生のご助言をいただこうと考え、アドバイザーをお願いしました。

――実際には、どのようなアドバイスがありましたか。

北沢　講演や、社員が参加するアクティブラーニングの場でいろいろなアドバイスをいただいています。テーマは「機械学習」「ディープラーニング」「クルマの自動運転制御」といった技術的なことだけでなく、仕事の進め方などについても教えていただいております。

――アクティブラーニングを受けられた社員の方の反応はどうでしたか。

北沢　目標を高く掲げ、それに邁進されている先生の姿勢に社員は強く共感しています。従来、我々はお客様の要望に合わせてシステムを作っていたことも多かったのですが、今はＩＴを活用し、業務をいかに改革していくのか、お客様に提案しています。そういうことですので、社員には先生の姿勢をしっかり学ぶように言っています。



左／働き方改革推進委員会活動
右／一般社団法人教育のための科学研究所・新井紀子所長によるトヨタシステムズでの講演



新井所長から

文系・理系人材が各部署で生産性を最大化することにより、全体最適化を図る企業経営は、デジタルトランスフォーメーション（DX）の到来とともに過去のものとなりました。誰もが文理融合人材となり、知識だけでなく学び方を常にアップデートすることが求められる時代に突入したのです。トヨタグループ各社にITソリューションを提供するトヨタシステムズの全社員がRSTを受検したことは極めて象徴的なことだといえるでしょう。DX時代にも成長し続けるトヨタシステムズの強い意志と戦略性を感じます。

RSTの全社員の受検を決定、個別教育の進化を目指す

――社内の人材育成、特に教育はどのように進められていますか。

北沢　ＩＴ企業ですので、当然、技術的な教育についてはしっかり行っております。併せて、資格・職層に合わせ、適宜、集合教育を行っています。

――課題はありますか。

北沢　これまで以上に調整力の高い人材がシステム開発で求められています。ＩＴへの期待が高まることで、さまざまな要望がシステム開発担当者に投げかけられますが、現実には今の業務を大幅に変更したり、最新技術の設備を導入したりと制約や課題がたくさんあります。また、成果の早出しも求められています。現状を分析し、さまざまな要望を整理・調整し、進むべき方向を固める能力が求められます。このような広範な能力を持つように教育することは大変難しい。また、そもそも社員各々のコミュニケーション力を正確に把握することもなかなか大変です。

――それでRSTを活用することになったのですね。

北沢　そうです。いろいろなお客様の要望をお聞きし、判断するためには当然読解力が必要です。社員の読解力を正確に数値で把握することができ、統計的に分析できるRSTはいろいろな教育・人材育成の基本として活用できると考えました。先生からも「読解力が仕事の生産性のベース」と伺っています。

――今後はどのようにRSTの結果を活用されていきますか。

北沢　正直なところ、まだテストの結果を受け止めているところです。会社の平均点も他社と比べてまずまずのレベルと聞いてほっとしています。受検者には結果・分析が出ますので、自分の実力をしっかり理解してもらいたい。どのような教育制度に織り込んでいくかは、これから新井先生のアドバイスもいただき、形を作っていきたいと考えています。

個人を活かせる新しい働き方と、さらに成長できる企業へ

――これからのトヨタシステムズの方向性についてお聞かせください。

北沢　ご承知の通り、クルマは大きく変わろうとしています。それを実現するためには先端的なＩＴ技術が必要ですし、さらなる効率的なクルマの開発・生産には業務改革とそれを支えるＩＴシステムの再構築が不可避です。このような業務をしっかりリードできる人材を確保することが当社の急務です。社員一人ひとりが自分の能力を伸ばし、生き生きと新たな課題に向かっていくことが、会社の大きな力となります。そのためには相手の言っていることを正確に理解し、そして自分の考えを正しく伝えられることが基本です。我々はRSTを活用し、トヨタシステムズの基礎体力をさらに向上させ、会社を成長させ、トヨタのクルマづくりに貢献していきます。

代表取締役社長　北沢 宏明氏のプロフィール

1984年	トヨタ自動車株式会社　入社
2016年	トヨタ自動車株式会社 情報システム本部 情報システム領域長　常務理事
2019年1月	株式会社トヨタシステムズ 代表取締役社長

株式会社トヨタシステムズ　会社概要

設立	2019年1月1日
資本金	54.5億円
従業員数	約2,800人（派遣社員含む）
売上	約1,200億円（2019年度見込）

https://www.toyotasystems.com



提携 ソリューションのご紹介

代々木ゼミナールでは、教育のための科学研究所と提携し、受検機関の皆様を多角的にサポートしています。
受検後のアフターフォローまで幅広く対応しているので、効率的かつ効果的に受検することが可能です。

Pコース団体受検

代々木ゼミナールでは、本部校を会場とするPコース（個人受検）を年2回実施しております。しかし、「既定の実施日に都合がつかない」、「受検対象者が多いため1日程では全員を受検させることができない」という場合には、受検機関様専用の特別日程にて受検していただくことが可能です。特別日程での実施の場合、原則として20名様からの受付となり、通常料金（4,400円(税込)／1名様）＋事務手数料をいただきます。



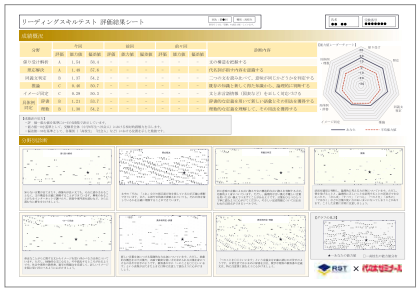
受検後のオプション

1 個人帳票作成 ［対象：Sコース］

Sコース受検後に受検機関様がダウンロードできる成績データ（CSVファイル）を基に、受検者ごとの個人帳票の作成を承ります。個人帳票には、分野別の能力値、偏差値、評価コメントなどが掲載されているので、自分はどの分野が弱いのか、どのような点に普段から注意すべきなのか、といった認識を受検者に促すためのツールとしてご活用いただけます。

※個人帳票の内容は、Pコースの受検後に提供するものと同一です。
※Pコースでは受検者全員に個人帳票を返却します。

●料金…1枚550円(税込)＋郵送料　※20枚からの受付となります。
●返却…成績データ受領後、2～3週間で代表者宛てに郵送予定



※画像はイメージです
レイアウト等が変更になる場合があります。

2 報告書作成・講演

成績データ（CSVファイル）を基に平均や分布を調査し、報告書の作成を承ります。これまでに蓄積された成績データから、受検結果に見られる能力値分布はいくつかの典型的なタイプに分類されます。受検者の特徴に基づき、タイプ別の“読めない”原因をご提示いたします。また、個人帳票の見方や活用法をわかりやすく説明するガイダンスの実施も可能です。受検機関様の代表者だけではなく、受検者にも聴講していただくことで、個人帳票をさらに有効活用していただけます。なお、対面実施だけでなく収録データでのご提供も可能です。

●料金…［報告書作成］55,000円(税込)＋事務手数料　［講演］75,000円(税込)＋事務手数料
●納期…成績データ受領後、3週間程度で納品予定

3 トレーニング

［読解力特講］
代々木ゼミナールが制作した『読解力特講』は、読解力を5つの要素に分解し、要素ごとにフォーカスした映像授業とテキストによる演習を繰り返すことで、文章を正しく読むためのポイントを体系的に学ぶことができる特別講座です。約15分×全14回の構成なので、業務の合間での受講が可能です。

精読のかたちが見えてくる 読解力特講

●料金…3,300円(税込) /1名様

［読解力特講 知識編］
文法や敬語などの知識量による読解力の底上げを目的とした、テキストのみで完結する自習型教材です。プレゼンや報告書作成などに向けて表現力を身に付けるための課題として、また円滑なコミュニケーションを支える日本語の知識を確認するための研修課題としてご利用いただけます。

精読の深化に“Plus One” 読解力特講 知識編

●料金…2,200円(税込) /1名様

開発者からのメッセージ



一般社団法人 教育のための科学研究所 代表理事・所長
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所 社会共有知研究センター長・教授
新井 紀子

リーディングスキルテスト（RST）は、教科書や新聞、辞書、法律等を出典とした200字程度の短文を読み、正確に内容を理解できるかを問う診断テストです。

多くのビジネスパーソンは「教科書の文章？そんなものは（自分も含めてうちの社員は）全員読める」と思うことでしょう。

いいえ。残念ながら、それは事実と異なります。

たとえば、下の問題はRSTの具体例同定（理数）の例題です。出典は小学5年生の教科書ですが、社会人の正答率はわずか32.5%です。（正解は、 8, 0, 110）

例題　以下の文を読みなさい。

2で割り切れる数を偶数という。そうでない数を奇数という。
偶数をすべて選びなさい。

- ☐ 65
- ☐ 8
- ☐ 0
- ☐ 110

これまで、一部上場企業人を含む多くのビジネスパーソンがRSTで読解力の診断を受けました。その結果、高校1年生程度の読解力しか有さず、初見の教科書や新聞の文章をかなりの頻度で誤読する受検者が一定数いることが明らかになりました。ヒアリングの結果、仕事の生産性とRSTの受検結果はかなり相関する、ということもわかってきました。

職域によっても読解の「癖」に偏りがあるようです。文系出身者が多い、人事部や総務部では、係り受け解析や照応解決では高めの能力値ながら、推論・イメージ同定がやや弱く、特に具体例同定（理数）を苦手とする方が多いようです。一方、研究職は具体例同定（理数）が極めて優秀でも、常識を用いる推論や具体例同定（辞書）でつまずくことが少なくないようです。

社内の読解力のばらつきが大きければ大きいほど、社内コミュニケーションの質は低下します。なぜなら、現代のビジネスにおいて9割以上の情報が、文書やメールなど「書かれた言葉」でやりとりされているからです。

このたび、多くの企業からのご要望に応えて、RSTの結果の読み方や、アドバイス、研修などソリューションメニューも揃えました。貴社のコミュニケーションの質向上や、働き方改革、さらには生産性の向上に寄与することを心より願っております。



AI vs. 教科書が読めない子どもたち

AIの可能性と限界、読解力の重要性を説き、教育関係者や親たち、ビジネスパーソンから圧倒的支持を得て、多数の賞を受賞した新井紀子の著書。

発行：東洋経済新報社



AIに負けない子どもを育てる

日本中で騒然の書『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』の続編。読解力向上のために親、学校、個人ができることを提言。小学校・中学校で実際に行われて成果をあげている授業・取り組みを公開！ 大人が読解力を身につける方法も明らかにする。

発行：東洋経済新報社

一般社団法人 **教育のための科学研究所**
https://www.s4e.jp/

● 受検に関するお問い合わせ

「お問い合わせフォーム」よりご連絡ください。
https://rst-web.s4e.jp/toiawase

● リーディングスキルテストのソリューションに関するお問い合わせ

代々木ゼミナールWebサイトの「お問い合わせフォーム」よりご連絡ください。
https://www.yozemi.ac.jp/yozemi/toiawaseForm/init

（2026／11）